

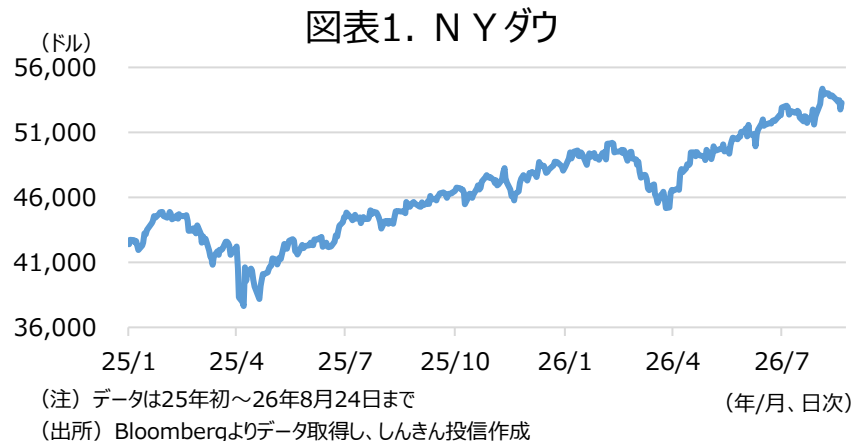


投資環境

2026年8月25日

米国株の現状整理と今後の展望

米国株式市場は足元やや上値が重いものの、8月初旬に、NYダウが史上最高値を更新するなど底堅い動きとなっています(図表1)。ここでは、米国株式の現状について整理したうえで、今後の展望をまとめたいと思います。

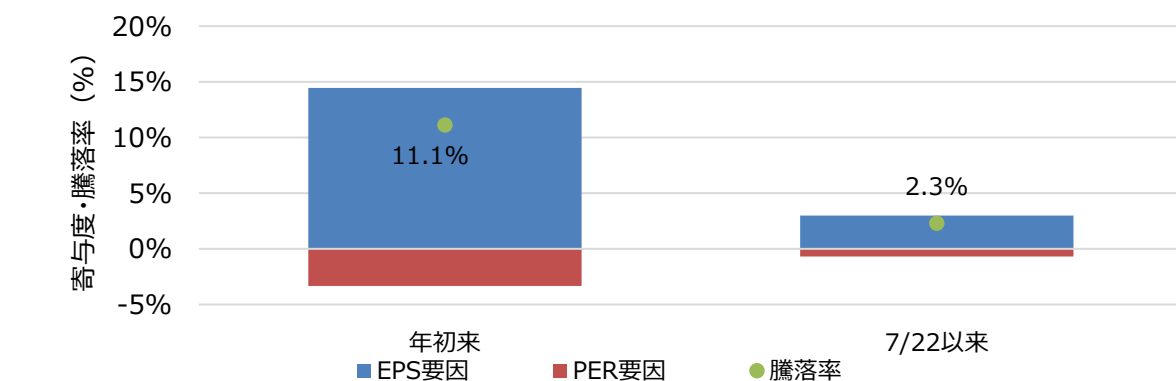


□ 足元の動向

株価は「予想1株当たり利益(EPS)」と「株価収益率(PER)」の掛け算で決まります。予想EPSは今後企業がどれだけ利益を上げるかという業績予想です。PERは株価がEPSの何倍になっているかを示し、業績に対する投資家の評価や期待の高さを表します。したがって株価の変動は、業績予想の変化による部分と、投資家の評価や期待の変化による部分に分けることができます。

この考え方でNYダウの年初来の上昇要因を分解すると、株価が約11%上昇したのに対し、予想EPSは約15%の伸びを示しています(図表2)。株価の上昇幅を上回るペースで業績予想が切り上がっており、PERはやや低下したことになります。つまり年初来の株価上昇は、投資家の期待が高まったことによるものではなく、業績予想の改善に支えられたものということになります。直近1カ月についても同様に、株価の上昇幅を上回るペースで利益が拡大しています。とくに、2026年は予想EPSの伸びが継続しており、これが米国株の年初からの好調の背景にあるとみられます(図表3)。

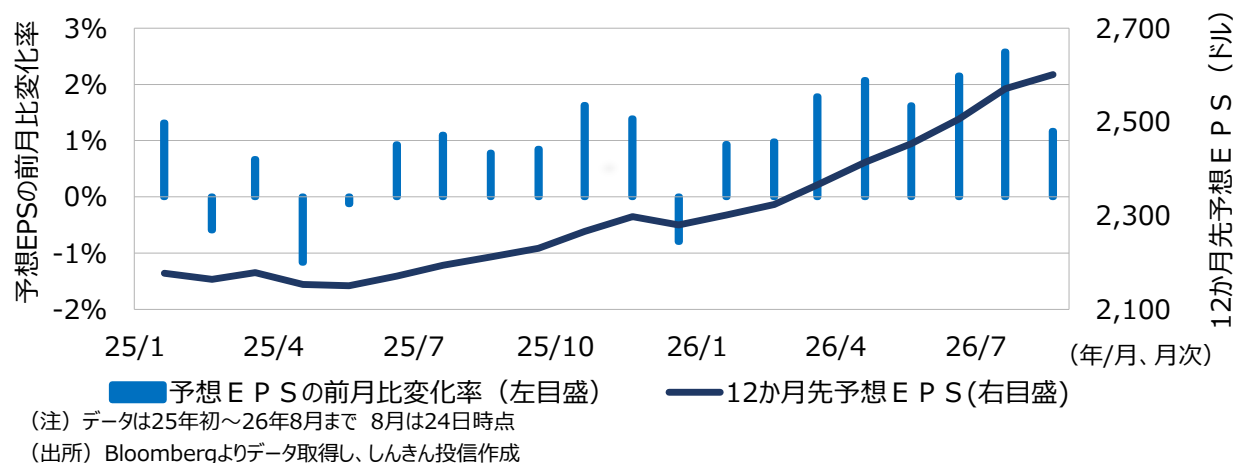
図表2. 株価上昇の要因分解





しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
 Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人資産運用業協会
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

図表3. 12か月先予想EPSと変化率(前月比)



一方で、足元の米国株がやや上値の重い動きとなっている背景には、長期金利の上昇が挙げられます。米国の長期金利は、米国の財政悪化懸念に加えて、社債発行の増加による需給悪化などを背景に、約1年半ぶりの高水準となっています(図表4)。金利上昇は、債券と比べた株式の相対的な投資妙味低下につながるため、株価の押し下げ要因となっているとみられます。

図表4. 米国の長期金利



見通し

企業業績については、米経済の底堅さを背景に今後も伸びが続くと見込まれます。アトランタ連銀が公表しているGDPナウによると、米国の7-9月期の成長率は前期比年率+4.0%と前期の+1.5%から加速する見通しです(8/18時点)。富裕層を中心とした消費の拡大に加え、AI関連投資の増加が、景気を支える見込みです。

また、中長期的には、米国企業の資本効率の向上が株価の支えとなることが期待されます。自己資本利益率(ROE)は、株主から集めた資金を使って、企業がどれだけ効率よく稼いでいるかを測る指標です。米国企業のROEは、緩やかな上昇傾向にあり、2020年以降は高い水準を維持しています(図表5)。また、米国企業のROE(縦軸)とPER(横軸)の月次データを、2019年以前と2020年以降に色分けして示した図表6をみると、2020年以降にROEとPERが右上にシフトしていることが分かります。このことは、ROEが高まったことで、投資家が米国株に対して従来よりも高い評価をつけるようになり、PERも高水準が続いていると解釈できます。米国株のROEの高さは、米国株に投資する魅力を高め、中長期的に米国株を支えることが期待できます。

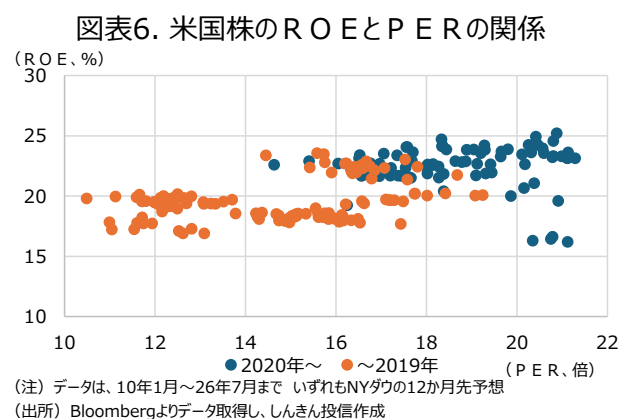
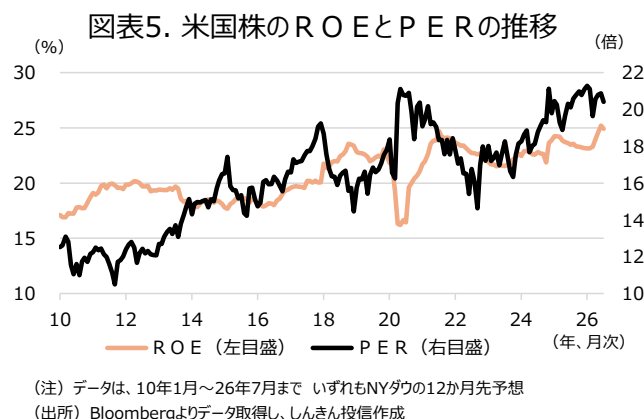
ただし、長期金利が一段と上昇した場合、株式の割高感が意識され、株価の重しとなる恐れがありま



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人資産運用業協会
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www. skam. co. jp](https://www.skam.co.jp)

す。米国が24日にイランに対する新たな経済制裁を発表したことを受けて、中東情勢の悪化によるインフレ加速への懸念が強まっているほか、財政悪化への懸念もくすぶっており、長期金利がさらに上昇する可能性があります。

今後は金利上昇などを背景に、投資家の米国株への評価が低下し、一時的に株価が調整する場面も想定されますが、底堅い経済を背景とする企業業績の拡大が支えなり、米国株は堅調な動きが続くことが予想されます。



(ストラテジスト 澤村一樹)



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人資産運用業協会
〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。

※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

※投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

【お申込みに際しての留意事項】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について

(お客様に直接ご負担いただく費用)

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 **上限 3.3%(税抜 3.0%)**
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 **上限 0.3%**

(保有期間中に間接的にご負担いただく費用)

- ◆ 運用管理費用(信託報酬)・・・純資産総額に対して、**上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)**
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用(手数料等)の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくお読みください。

※本資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。